

奈良川源流域の植物 2016年6月



クマツヅラ 淡紫色の小さい5弁花をつけ、花後に花の間隔が伸びる。



クサヨシ 花径を高くのばし、細長い穂をつける。



アオカモジグサ 小穂はばらけず、長い芒が反り返る。



カモジグサ 小穂は上下にばらけ、長い芒がまっすぐにのびる。



コモチマンネグサ 葉腋に厚い双葉の形をしたムカゴができる。



ナガミヒナゲシ 蒴果は細長く、1ミリに満たない種子が1000個以上ある。



シモツケ 複散房花序に淡紅色の5弁花を多数つける。



エビヅル 葉は裏が白く、雌雄異株で、黄緑色の花を総状につける。